

愛連第一部(一般部)

吟士権者決定 詩吟大会にて入賞!!

9月19日に実施された表記大会にて
米山裕子さん(秀正会)が、入賞されました。
8月1日の財団近畿大会に続いての入賞です。

連続の入賞おめでとうございます。(事務局)

後期昇格審査会 延期

9月26日(日)実施を予定しておりました昇格審査会は、公共施設休館により、練習場確保が困難になることが予想されたため、以下の日程に延期となりました。

- ① 日時 10月23日(土)
- ② 場所 長岡京市中央公民館・講座室
- ③ スケジュール 5時半:開場・受付、6時:開会
*予備審査会 10月6日(水) 中央公民館・講座室
1時開場・受付 1時30分開会(師範会の前)

日頃の練習の成果を存分に発揮して下さい。

山本賀秀雲先生を偲ぶ

城戸 賀秀義

日頃病氣知らずの若々しい賀秀雲先生が、お盆も過ぎた8月22日 突然、逝去されました。

聡明で、何事にも臨機応変に対処され、長岡京吟詠会の事務局長として永年、会の発展に献身的に尽力されてこられました。

7年前には、ホテルグランピア京都に於いての、賀堂流京都本部35周年記念大会が先生の的確な采配で、成功裏に終えたことが、

印象深く、なつかしく思い出されます。

又、先生は長年にわたり水墨画、書道家として幅広く活躍され、私も20年もの間、大変お世話になりました。

3月初めの練習日、先生の体調不良の為、教室の閉鎖が告げられますが、お元気な様子で病気のことは信じられずなごやかな茶話会で終わりました。

これを最後に、コロナ禍の中、顔を逢わすこともできず、残念な事に、帰らぬ人となりました。

賀秀雲先生のご冥福をお祈り申し上げます。



山本先生の作品から

故 千阪先生の旧著「漢土故事物語」を解説(10)

蛇 足 小林賀清風

楚の国に春の季節に祭事を司る者がいた。ある時、
近侍の臣下に一杯の酒を与え「この酒を皆で飲むと
到底足りないが、一人で飲むなら十分だ。どうしたものだろうか?」と相談した。すると、「今から地面に、蛇の絵を画いて、先に書き上げた者が戴く事にしたらどうか」と言う提案があり、みなが賛同した。やがて、そのうちの一人が、真っ先に絵を画き終えたので、大杯を受け今にもこれを飲もうとして、やをら左手に杯を持ち酒を口につけんとしたが慌てて、右手を以て蛇の形に足を書き添えつつ「吾こそ第一に書き終えしが、足のみ未だ書きあがらず」といった。傍人が「蛇には足なし、君はどうして足を書き添えたか」と言って無益なことをしたばかりに、酒を飲み損じた故事に基づく。



山本先生の訃報に接して

奥 堂秀信(白山)

1月はじめから治療のためお休みになり、コロナの感染拡大期と重なり心配しましたが、5月に大病院で手術も済んだと聞き、少し安堵していました。お元気な山本先生の事、回復されると信じていたのに突然の訃報で非常に残念です。

山本賀秀雲先生は吟道賀堂流の総師範で、長岡京吟詠会の事務局長として永年ご活躍されてこられました。その中でも会報『ぎんまい長岡京』の創始者であり、また、長岡京吟詠会の代表的イベントの秋の吟剣詩舞大会では、書道吟の時は書家に、構成吟の時は舞台監督へと八面六臂の活躍が印象的でした。長法寺小学校のすくすく(詩吟)教室では、熱心な指導で生徒達に慕われる先生でもありました。詩吟の他にも、書道や絵もたしなまれ、私達の詩吟の練習場 八木賀秀容先生宅の床の間には、先生直筆の絵と漢詩の掛け軸がいつも掛けてありました。

白山・たちばな教室の私達は、詩吟のみならず多彩な趣味・才能を有しながら、飄々としている先生にご指導を受け、色々幅広く学ばせて頂きました。

先生色々ありがとうございました。

ご冥福を心からお祈り申し上げます。 合 掌

R3/10月・11月の予定



ビール工場横のコスモス

長岡京吟詠会

- 10月 6日(水) 13:30 後期昇格審査会(予備) 公民館講座室
- 10月 6日(水) 14:00 師範会 公民館講座室
- 10月20日(水) 13:00 企画会議 産文3F 第2会議室
- 10月20日(水) 15:00 師範会 産文3F 第2会議室
- 10月23日(土) 18:00 後期昇格審査会 公民館講座室
- 10月31日(日) 14:00 執行部会 公民館実習室
- 11月 3日(水) 14:00 師範会 公民館講座室
- 11月17日(水) 14:00 師範会 産文3F 第2会議室
- 11月24日(水) 14:00 執行部会 公民館学習1
- 11月28日(日) 14:00 企画・研修部会 公民館学習2

本部・総本部

11月14日(日) 京都本部常任理事会 丹波マークス

府連・府総連

- 10月 3日(日) 愛連二部優勝者決定大会 尼崎市総合文化センター
- 11月21日(日) 府連吟詠コンクール決勝大会 **府連中止に伴い中止**

愛連第二部 (指導者の部)

吟士権者決定詩吟大会に 出場！！

10月3日に実施される表記大会に、
辛島 勝 さん(長天)が、 出場されます。

日頃の実力をいかに発揮されますように！！
(事務局)

私の古里「高校生活」

横山 賀秀邦



小学校四年生の時、町と結ぶ路線バスが開通。昼の便でパンを運んでもらえるようになり、給食が始まりました。当番が校門下の広場に取りに行っていました。

その頃の車掌さんが高校に入った頃は運転手さん。下宿先から帰る時に乗ると、停留場の手前の家の前でいつも降ろしてくれました。停車はできないけれどカーブの前の広い道だからスピードを緩めるので飛び降りろって。いつも飛んで下車していましたけれど、転ぶこともなく幸でした。

下宿の話ですが、高校のある町まで家から20キロ。最初は瀬戸内海の島の人を対象とした市営の寮に。学年が進むと島の人が増え、山の人が出ることに。民生委員の方の二階に下宿。花街の一角で毎夜三味線の音と障子に写る踊っている人の影には、新しい社会を知りました。落ち着かない日々心配して下さった1年の時の担任の先生。ご病気になられ、ご自分の下宿を守ってほしいということで、田んぼの中の二階に移りました。漢詩の読みをほめて下さった国語の先生でしたので、本がイッパイ。さわったらダメと思ひながら、時々こっそりとみて勉強になりました。

毎日のようにテレビで見る千鳥の2人は後輩です。今では古里も市になり、ノブさんと同じ市とは・・・。

詩吟との出会い 湯浅賀秀恭 (たちばな)

主人の母は、千阪先生の教室でご指導を受けていました。そして、自分の教室を持ちお弟子さんを持つようになった時に、それまで、全く詩吟を知らなかった私にも声が掛かり、教室に参加するようになりました。この時が詩吟との初めての出会いで



した。やがて、教室は、^{はは}義母から八木先生へと引き継がれ、それ以来、先生にご指導を受けています。色々な舞台や発表会で吟詠の機会を頂き、大変嬉しかった事を覚えています。また、合吟の練習で仲間と息が合わず、何回も何回も練習して、やっと声がそろった時には、みんなで手を取り合って大喜びしたのも良い思い出です。

始めてから40年ほど経ち、声の艶も随分落ちてきた気がしますが、これからも皆さんと一緒に苦しんだり感激したりと色々な経験を共にし、詩吟だけでなくさらに親しくお付き合いができればと思っています。詩吟においては、詩文の心を少しでも深く理解し、それを表現できる様、更に日々努力をして行こうと思ひます。今後ともよろしくお願ひ致します。



シリーズ「吟道と剣道」
その22

【脱力とイメージ作り】

長尾 賀秀剣

佐々木秀景先生の講演から(1)

声帯の振動を、体を楽器として最大限に響かす為最も重要なことは、先ず脱力と腹式呼吸。脱力と言っても虚脱とは違い、臍下丹田でしっかり支えていなくてはならない。力を入れることは容易だが脱力は至難の業。そしてこの事はスポーツにも共通すると言われました。まさに剣道でも同じです。緊張すると力む、胸式呼吸だと肩に力が入る。体に力が入り固くなると思う様に動けない。脱力するのは楽なようで、並々ならぬ稽古と努力が必要です。

また、何回も何回も朗読してイメージを作る。そして録音したり鏡を見たりして、自分を客観的に見て自分が自分の先生になり、自分で自分を指導する、とも言われました。剣道でも鏡を見たり、自分の立ち姿や身のさばきをイメージして、理にかなないカッコ良い動きを追及します。「他人のふり見て、我がふり直せ」と言われますが「自分のふり見て、我がふり直せ」と言うことも必要ですね。

吟道でも剣道でも脱力とイメージ作りは重要な課題です。

『ぎんまい長岡京』編集室

長尾賀秀剣 西本 章

※連絡先 長尾賀秀剣

Tel: 090-9095-3751

Email: knagao69@gmail.com

